

基礎的神学 I

1. 目的

- ・受講者は、礼拝等の説教を行うために組織神学の基礎を学ぶ。

2. 進め方

- ・テキスト「神学の喜び」を読み進め、課題を考察することを通して組織神学の基礎を学ぶ。

3. テキスト／参考文献

(テキスト)

- ・新装増補改訂版 神学の喜び—はじめての人のための「キリスト教神学」ガイド
アリスター・E・マクグラス著、芳賀力訳、キリスト新聞社、2017年

(参考文献)

- ・キリスト教神学第1巻～第4巻
ミラード・J・エリクソン著、宇田進監修、安黒務他訳、いのちのことば社、2003～2006年

4. 課題等

(課題)

- ・課題は、一ヶ月に一つである。
- ・毎月の課題を期限内に提出する。
(9月のみA,Bの二つの課題のうち一つを選択)
- ・期限は各月の最後の土曜である。
- ・A4三千字以内。
- ・課題の内容と締切日については、7. スケジュールを参照。
- ・参考文献を用いた場合は必ず明記すること。
- ・課題で重要なことは、講師の意見と類似しているかどうかではなく、内容が論理的に構成されているかである。
- ・締切を過ぎること、指定文字数を越えることは減点対象となる。

(リーディング)

- ・リーディングとは、各月の指定されたテキストの範囲を読むことである。
- ・各月のテキストの範囲は7. スケジュールを参照。

(進捗状況の確認)

- ・進捗状況の確認とは、リーディングの進捗状況を担当者にメールで報告することである
- ・受講者は担当者に読み終えたページを報告する。
- ・報告は月二回行う(基本的に第二・第四水曜)。
- ・報告期限を過ぎることは減点対象となる。

(スクーリング)

- ・学期に2回行う。
- ・1回2時限の計4時限である(1時限は50分)。
- ・原則、土曜日に実施される(詳細な日程は後日、神学校から連絡がある)。

5. 提出先

- ・担当者のE-mailアドレス phi411.mitsuru@gmail.com

6. 評価

	基準
A, A-	学習の期待値よりも優れている
B+, B, B-	学習の期待値に達している
C+, C, C-	学習の期待値に達していない
D	学習の期待値から非常に劣る
F	単位を与えることができない